

## 総務委員会視察

各施設での取り組みを視察いたしました。



**5/30 月**  
**県内視察【中濃・西濃地域】**

- 児童心理療育施設 桜学館【関市】
- ドローンミュージアム&パークみの【美濃市】
- 大野町神戸インターチェンジ周辺 まちづくり整備事業について【揖斐郡大野町】
- 大垣消防組合北部消防署【揖斐郡池田町】

**7/28 木・29 金**  
**県内視察【飛騨・中濃地域】**

- 農園キッチンKirin【高山市国府町】「農業」「福祉」の連携施設
- 飛騨・世界生活文化センター【高山市千鳥町】県広域防災拠点
- 白川郷・五箇山の合掌造り集落【大野郡白川村】荻町地区の防火体制について
- フェアフィールド・バイ・マリオート・岐阜郡上【郡上市大和町】隣接の道の駅を利用する新しい旅のスタイルについて

**10/26 水～28 金**  
**県外視察【愛媛県・徳島県】**

- 村上水軍ミュージアム【愛媛県今治市】日本遺産を活用した地域活性化について
- サンライズ糸山【今治市サイクリングターミナル】【愛媛県今治市】サイクルツーリズムによる観光振興について
- 松山城 消防防火体制について【愛媛県松山市】
- アウトドアオアシス石鎚【愛媛県西条市】アウトドア活動促進による地域活性化について
- 徳島県庁【徳島県徳島市】徳島県による「#7119」の運用について
- 徳島県立防災センター【徳島県徳島市】
- 道の駅くるくるなると【徳島県鳴門市】交流人口・地域消費の拡大について

## ごあいさつ

平成27年に岐阜県議会議員選挙にて初当選させていただき、おかげさまで8年が経過しようとしております。今日まで賜りました皆さまからのご支援に、心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。未だ新型コロナウイルスが終息しない中、経済再生、人口減少や少子高齢化、環境問題など、山積する諸課題の解決に向けて「全力若井!」で取り組んでまいります。これからも「未来を切り拓く」という気概を持ち、県民一人ひとりが幸せを実感できる魅力ある岐阜づくりに向けて、一層の努力を尽くしてまいります。今後ともご指導賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

岐阜県議会議員 **若井あつこ**

## 若井あつこプロフィール

昭和46年9月12日 岐阜県岐阜市生まれ  
 全日本空手道連盟 公認7段  
 日本スポーツ協会 公認コーチ4  
 健康運動指導士  
 平成27年4月に岐阜県議会議員に初当選

### 主な役職 (令和4年12月現在)

岐阜県議会 総務委員会 委員長  
 自由民主党 岐阜県連 女性局長  
 (公財) 全日本空手道連盟 理事  
 (公財) 全日本実業団空手道連盟 理事  
 (公財) 岐阜県スポーツ協会 理事  
 岐阜県知的障がい者サッカー連盟 会長  
 岐阜県ジュニアソフトボール協会 会長  
 岐阜市スポーツ協会 副会長  
 西濃運輸株式会社 空手道部 総監督  
 中部学院大学 空手道部 監督

学歴	
昭和59年 3月	岐阜市立岐阜小学校 卒業 (旧 岐阜市立京町小学校)
昭和62年 3月	岐阜市立岐阜中央中学校 卒業 (旧 岐阜市立伊奈波中学校)
平成2年 3月	岐阜県立岐阜総合学園高等学校 卒業 (旧 岐阜県立岐阜第一女子高等学校)
平成4年 3月	近畿大学短期大学部商経科 卒業

主な空手道歴		主な受賞歴	
世界空手道選手権	4連覇	平成11年	岐阜市民栄誉賞 (ギネス世界記録認定)
ワールドゲームズ	3連覇	平成15年	岐阜県民栄誉大賞
全日本選手権	8連覇		JOCスポーツ賞 優秀選手賞
国民体育大会	優勝5回	平成17年	文部科学省 スポーツ功労者顕彰
全日本実業団選手権	優勝8回		



第12号

令和5年 2023 Vol.1

自民党 Lib Dems  
Liberal Democratic Party of JAPAN

笑顔は希望、やさしさは力。

# 岐阜県議会議員 若井あつこ

## 県政だより

岐阜の今を若井の視点でお届けします。



全力若井!!  
**2022年度 活動報告**



## 若井あつこ事務所

〒500-8323  
 岐阜市鹿島町1丁目10番地 加藤第二ビル2階  
 TEL.058-252-1115 FAX.058-252-1151  
 wakai-jimusho@marble.ocn.ne.jp

若井あつこ 公式SNS

Instagram QR code

Facebook QR code

# 一人ひとりの幸せをカタチに。

2022年は岐阜県議会定例会にて3度登壇し、県の取り組み等に対して質問いたしました。

## 3/11 令和4年 第1回定例会

### 質問 青少年への性教育における 専門知識を有する講師の活用促進について

間違った性情報が横行するネット社会において、子どもを守り人権を尊重するという観点からも、正しい性に関する学習の機会を子どもたちに保障していくことは不可欠。

専門知識を有する講師を活用した性教育を、県立高校のみならず、私立高校、市町村の中学校などでも実施していくことが必要と考えるが、所見を伺う。

### 答弁 教育長

県教育委員会では、県立学校に県産婦人科医会の医師等を招き、命の大切さや人生設計について話しを頂く機会を設けており、生徒が自らの生き方を考える貴重な場となっている。

SNSの普及等により、性に関する被害が低年齢化していることなどを踏まえ、より多くの学校に広げていく必要がある。

今後、市町村への説明会で取り組みを紹介するとともに、中学校での実施につながるよう、中学校教員や市町村担当者が高校での講話を体験できる機会を提供していく。

さらに、私立学校の養護教諭も参加する講習会で、講話の動画を紹介するなど、専門知識を持つ講師と連携した指導がさらに広がるよう努めていく。

### 質問 特定妊婦への切れ目のない 支援のあり方について

特定妊婦の産後は、養育能力や養育環境が整っていないなど、長期的なケアが必要となるケースが多い。社会からの孤立を防ぎ児童虐待の未然防止を図るためには、関係機関内で連携強化を図り、当事者に寄り添った養育支援へとつなげていくことが求められる。

妊娠期から出産後まで真に切れ目のない支援のあり方について、所見を伺う。

### 答弁 子ども・女性局長

本県では、平成30年12月から、岐阜市内の乳児院に相談窓口を設置し、令和2年度には、各地域からの相談に対応するため、中津川市内の乳児院に2か所目となる相談窓口を開設し対応しているが、特定妊婦の産後の自立支援の観点から、今後はより相談者のニーズに沿った支援を検討していく必要がある。来年度は、新たに借家を一軒借り上げ、産前産後の緊急的な住まいとして提供する。

また、在宅での支援に向け、要保護児童対策地域協議会と

子育て世代包括支援センターが連携して、個々のケースの支援方法を検討するよう市町村に働きかけるとともに、必要に応じて県子ども相談センター、保健所から助言を行うなど、相談者に寄り添った切れ目のない支援を行っていく。

## 6/24 令和4年 第3回定例会

### 質問 女性にとってジェンダーギャップのない 働きやすい環境整備の更なる促進について

他県と比べて、20代を中心とした女性の県外流出が多い本県において、性別による差別や不平等がなく、個性と能力を十分に発揮できる仕事を県内に創出し、ジェンダーギャップのない働きやすい環境整備の更なる促進が必要と考えるが、所見を伺う。

### 答弁 子ども・女性局長

国の「女性版骨太の方針2022」では、女性が地方から流出する背景には、地方には固定的な性別役割分担意識が根強く残っており、経済的に自立したい女性にとって、地元で生活するという選択肢が選べづらくなっていると示されており、女性が望む働き方が選べるよう、ジェンダーギャップのない環境整備や、女性の多様な働き方の情報発信が必要と考える。

そのため県内大学等と連携し、若者が感じるジェンダーギャップについての意見を伺い、課題を整理し今後の取り組みに活用していく。

また、進学等で岐阜を離れても、岐阜に戻り、様々な分野で活躍している女性のロールモデルを発掘し、SNSなどで発信していくなど、若い女性に対して岐阜で働く魅力をPRしていく。



### 質問 県における 女性デジタル人材育成の取り組みについて

女性デジタル人材の育成は、女性の人口流出が顕著な本県にとって、ジェンダーギャップに影響されにくく、経済的にも自立しやすい働き方の県内創出につながる。

またテレワークも可能なことから、育児・介護等で時間的制約がある女性の就労支援にも有効な方策と考えるが、所見を伺う。

### 答弁 子ども・女性局長

デジタルに馴染みのない女性をはじめ、キャリア継続や再就職を希望する女性に、企業におけるテレワークの現状紹介、クラウドワークの疑似体験や、web会議アプリなどの基本スキルの習得に加え、自身のキャリアプランを考える講座など、デジタル社会における多様な働き方を学ぶ講座を開催し、就労に向けて支援を行う伴走型サポートを実施していく。

また、県内企業を対象に、企業が必要とするデジタル人材の調査を行い、企業のニーズに応じた講座の開催につなげていく。

## 9/29 令和4年 第4回定例会

### 質問 岐阜市鶯谷地内で発生した山腹崩壊に係る 今後の治山対策について

8月25日の集中豪雨により、岐阜市鶯谷地内の山腹が崩壊し、土砂が道路に流出したことにより、鶯谷トンネル一帯が通行止めとなった。

自然災害が激甚化、頻発化するなか、未然に災害を防ぐ対策を講じていくことが求められ、再び山腹崩壊等が発生しないための、恒久的な治山対策が必要と考えるが、所見を伺う。

### 答弁 林政部長

山腹崩壊後、応急対策として直ちに土砂流出防護用ネットを設置し、二次災害に備え雨量計も設置し監視体制を強化した。

その後、大型台風14号接近前の9月17日に、周辺に流出した土砂や、堆積した土石と流木の除去を完了。

今後は、山腹崩壊地の侵食と新たな崩壊を防止するための「のり砕工」や、豪雨時の雨水を安全に排水するための「水路工」など、恒久的な対策を講じていく。

現在、国に対して災害関連緊急治山事業の採択に向けて申請を行っており、できる限り復旧に全力を挙げていく。

### 質問 長良川沿川の自然景観を生かした サイクルツーリズムの推進について

#### 【1】モデルルートの整備の進捗状況と今後の取り組みについて

本県が推奨している「長良川サイクルツーリズム」のサイクリングモデルルートにおいて、安全走行するための自転車通行空間の整備や、路面標示、案内看板の設置など、ハード整備を進めていくことが重要と考えるが、整備状況等を伺う。



愛媛県今治市にある「サンライズ糸山」にて

### 答弁 県土整備部長

モデルルート全長127.5キロメートルのうち、約4割について自転車歩行者専用道路を整備。

現在は、関市下有知地内と美濃市曾代地区にて、新たな専用道路の整備に向け、調査や設計を進めている。

専用道路以外の区間では、自転車利用者が迷わず安心して走行できるよう、全ての曲がり角にルートを誘導する案内標識の設置を進め、今年度中に完了する予定。

また自転車利用者とドライバーの双方に向け、自転車走行位置を示す青色の「矢羽根型路面標示」の設置を、県警察や関係市町と調整しながら進めているところ。

今後も、関係市町や自転車利用者等の意見を伺い、より安全・安心で快適な自転車通行空間道路の確保に向け取り組んでいく。

#### 【2】サイクルツーリズムにおける今後の取り組みについて

国が創設した制度「ナショナルサイクルルート」指定に向けた取り組みを検討していくなど、長良川沿川のサイクルツーリズムモデルルートのブランド化を図っていくことは、本県における新たな「観光価値」を創造し、国内外に選ばれる観光地域づくりに資するものである。

ハード整備とあわせて、沿川市町における受入体制の整備を進めていく必要があると考えるが、所見を伺う。

### 答弁 観光国際局長

長良川流域では、県と流域4市による「長良川流域観光推進協議会」を設置し、周遊滞在型観光の推進に向けて、サイクリングマップの作成や、民間事業者と連携したガイド付きで見所を巡るサイクリングツアーに取り組んできたが、流域全体としては取り組みに温度差がみられ、集客力、観光消費拡大の点からも、流域のサイクルツーリズムは発展途上にある。

今後は、「世界の持続可能な観光地100選」としての優位性を活かし、流域の自然や文化を自転車で巡る「サステナブルな旅」としてブランド化を図り、地元地域と連携し、立ち寄りスポットやサイクリングツアーの充実などの環境整備を進め、誘客に向けた取り組みを強化していく。